
僕たちの未来

jokerdead

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕たちの未来

【コード】

N2082P

【作者名】

jokerdead

【あらすじ】

今日すべてが変わった

俺の昨日

?「よかった、ちゃんと今日はきたんだ」

?「そうだね、今日はきたね」

?「本当によかった」

今日がくるそんなことを考えていた「昨日」

今日幻想は打ち砕かれた

~~~~~

父「外が騒がしいな」

母「朝からなんですよ、何かあったのかしら」

父「はっはっは、なあに心配することはない」

父「この地域は特別防衛区域なんだから核だろつと被害はないよ」

母「なにもなければいいのですが」

?「おはよう、父さん、母さん」

父、母「おはよう、拓哉」

拓哉「外が五月蠅くて眠れなかったんだ」

拓哉「何かあったの？」

父「よくは分からないがこの地域外で何かあったようだ」

父「なあに、心配することはないこの区域は大丈夫だよ」

父「早く朝ごはん食べて学校に行かないと遅れるぞ」

拓哉「はい」

## 私の昨日

？」「ママ、おはよー」

ママ「おはよう、利奈」

利奈「パパは？」

ママ「もう仕事にいったわよ」

利奈「そういえば、外が五月蠅くて眠れなかったの」

ママ「大丈夫、利奈」

利奈「テレビつけていい？」

ママ「いいわよ、急にどうしたの」

利奈「外が五月蠅いからニュースでやってるんじゃないかって思ったの」

ママ「黒い服の人達が何も教えてくれなくてニュースになってないわよ」

ママ「子供はそんなこと気にしなくていいの」

ママ「早く準備して学校いきなさい」

利奈「はい」

そのころのときはこれから起きることなど知るよしもなかったのだ

## 僕の昨日

僕は震えていた

僕は怖かった

僕の家のすぐそばには特別区域の国境があるんだ

そのせいで家の近くを兵隊の人達や黒服の人達がよく通るんだ

その人達は皆拳銃を持っていて目付きが鋭くすごく怖い

だから僕の家には銃跡がいっぱいあって誰もが

僕たち家族を避けていく

皆こう言うんだ

「拘わりたくない 拘わりたくない」皆してこう言う

母さん「大丈夫だよ、郁斗、家の中は安全だから」

郁斗「ホントにホントだよね」

母さん「大丈夫、大丈夫」

この家が危ないのは母さんが一番知っているはずなのに

2年前家の窓近くにいた父さんは流れ玉に当たって死んでしまった

そう母さんが一番知っているはずなのに

## 今日からの未来

拓哉母「拓哉、いつてらっしやい」

利奈母「利奈、いつてらっしやい」

郁斗母「郁斗、今日もがんばりなさいよ」

拓哉、利奈、郁斗「いつてきます」

そう、こいつらがすべてのはじまりだったのだ・・・

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2082p/>

---

僕たちの未来

2010年12月2日20時55分発行